## 3月29日「京都学ラウンジ ミニ講座」(開催報告)

平成30年3月30日 京都学·歷彩館 075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都学ラウンジの利用を促進するため毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度3月29日(木)に「京都盆地南部における近代治水事業と明治18年水害」と題して、本年度最後の講座を開催しましたので報告いたします。なお、京都学ラウンジミニ講座は来年度も継続して開催していく予定です。

記

■ 日 時 平成30年3月29日(木) 13:30~14:00

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

**■ 参加者数** 25名

■ 内 容

講師 京都府立京都学・歴彩館 京都学推進課 大邑 潤三 テーマ 「京都盆地南部における近代治水事業と明治18年水害」

## ■ 講座の様子

9月に「京都で発生した江戸時代の災害」と題して3回にわたり講義した講師が今年度最後のミニ講座に再登場した。京都における災害や防災に対する参加者の関心は非常に高く待望のミニ講座であった。明治維新以降、近代化が進展していく中で劇的に変化していく地域環境下で起こった明治18年水害の被害や住民の対応、そして日本最初の国家による近代治水工事の様子を行政、地域住民など様々な視覚から論じた。

東日本大震災以降、防災の意識が高まる中、そして明治維新から150年を迎えた今、 近代化により翻弄される地域住民と政府による防災の原点を見つめ直した今回のミニ 講座は大変に意義深い講座であったといえよう。



